

志津
まちづくり通信

第7号
発行：平成25年12月15日
志津地区まちづくり協議会
(志津市民センター内)
〒525-0041
草津市青地町561番地
TEL・FAX 077-562-0047
HP:<http://machikyuu.jp/shizu/>

地域ふるさとづくり
「志津の歴史」と「自然の美しさ」発信事業 **シリーズ1**



馬場町「八幡宮神社」836年（貞観5年）9月9日布九王子大明神を、同10日に八幡宮を城目の里に勧請された菊のご紋のある神社。
【祭神】 応仁天皇 【創祀】 年代不詳

交流の輪が広がる憩いの場 “志津ふれあい広場”

11月17日（日）開催の平成25年度「志津ふれあい広場」は、好天に恵まれ約2,000人の家族連れなどで賑わいました。「志津ふれあい広場」は、これまでの自然環境や人とひととの結び付きを大切にする良さを背景にしながら、町内会や自治会、地域の組織・団体が一体となって「ふれあい 支え合い 住み続けたいまちづくり」の一環として展開しています。

この日は、ステージ発表や模擬店、バザー、体験コーナー、大抽選会など、多くの皆さんによるふれあいとともに、交流の輪が広がる憩いの場となり、地域の絆を深める大変有意義な「広場」となりました。

※「志津ふれあい広場」の様子は次ページで紹介いたします。

平成25年度 志津ふれあい広場

開催



志津まちづくり協議会の歌の全員合唱



BSBのバンド演奏



南十字星のジャズダンス



ニュースポーツ体験



一芸大会 (けん玉)



消防車と記念撮影



志津地区健康推進員の健康はつつ体操



志津ふれあいバンドの演奏



赤十字奉仕団志津分団の歌と手話



ステージ前の様子



高穂中サッカー部の模擬店



抽選会・自転車当選

交流の場づくり事業

「志津地区まちづくり協議会」では10月12・13日にかけて、理事20名により、三重県松阪市の「朝見まちづくり協議会」と愛知県の「名古屋市港防災センター」の視察研修を実施しました。

1 「朝見地区まちづくり協議会視察研修」について

(副会長：宇野 敬造)

「朝見地区まちづくり協議会」は、松阪市東部に位置し、世帯数817世帯で二世帯、三世帯の家庭が多い農業主体の地域です。当協議会は平成18年度に設立され、『①自ら考え立ち向かうまちづくり、②地域の声を反映するまちづくり、③行政と協働しよりよい地域を創造するまちづくり』の理念の基に事業活動をされています。

当協議会は、総会・役員会・地域計画策定委員会・運営委員会で組織され、部会は、福祉・防災・安全防犯・青少年育成・地域環境部会と公民館の6部会で構成されています。

注目すべき点は、協議会事業として各種まつりや体育祭、まちづくり計画策定等の活動をされています。一方、部会組織として防災・防犯・福祉・環境等の日常生活に密接な関係のある事項に重点をおいて活動されています。また、青少年育成については、学校・PTAと一体に活動され園児や学童たちも積極的に参画し、更に各部会が地域と密接に結びつくように、各町より2名ずつ各部会に選出する組織体制で運営されています。「志津地区まちづくり協議会」においても大いに参考となる研修でした。



2 「先進地視察交流研修」について

(防災・防犯・交通部 部長：青木 光)

1日目の「朝見まちづくり協議会」では、副会長以下5名の出迎えを受け、活動内容の中でも防災活動についての説明、その後質疑応答を行いました。当協議会では、平成18年度に設立され、平成24年度には(財)消防科学総合センターによる「防災まちづくり大賞」を受賞されるなど、お手本となるまちづくり協議会でした。

規模的には小さいものの、防災に対する取り組みは「わが地区からは一人の犠牲者も出さないとの信念」を掲げ、訓練では、40メートルにも伸びる大型はしご車を使ったり、三重県の防災ヘリコプターを招くなど、受賞を納得させるものでした。また、独自に地元の事業所と「災害時協力企業」の協定を結び、その企業名を毎回の広報紙に掲載して周知を図るなど、広報活動にも目を見張るものがありました。

2日目は、「名古屋市港防災センター」を訪問し館内を一通り見学した後、職員の方から防災について研修を受けました。この防災センターは主に昭和34年の伊勢湾台風の被害を教訓に、地震災害・風水害・火災などの災害について体験学習できるものでした。

今年から「特別警報」が出されることになりました。台風18号の襲来により、草津市で第1号の「避難勧告」を志津地区でも受けた直後であったため、関心深い研修となりました。

最後には、災害時備蓄倉庫を見学させていただき、整然と並べられた品々とその量に圧倒されました。

2日間を通して、あらゆる災害に対する備えを、常日頃からしておく必要と防災訓練の大切さを痛感しました。



志津のまちかど

志津地区まちづくり協議会の組織・団体の活動を紹介するコーナーです。



災害への取り組み研修を終えて

草津市赤十字奉仕団志津分団

近年は、災害が非常に多く、滋賀県も花折断層という地震帯を抱えています。この様な状況の中、防災先進地区災害ボランティアネットワーク高島市の「なまず」を訪問し、災害への取り組みについて研修を受けました。

楽しく、笑いを交えて減災、防災について色々ポイントを教えていただきました。災害が実際起きたら実行出来るだろうかと疑問を持ちました。災害が起きたら、まずは自分の命、次は火を消す、足元を守るため「スリッパ、靴を履く」家族、隣近所に声をかけ、非難する等々基本的な事やいつも耳にしている事でしたが、知識・意識を持って、そなえと、かまを忘れないで行きたいと実感して、一日の研修を終えました。



身体障害者更生会郊外研修

身体障害者更生会志津分会

去る4月15日、「奥の細道むすびの地記念館（大垣市）」の見学研修に更生会員など32名が参加しました。

記念館へ向かう途中、福祉バスを乗り替えるハプニングがありましたが、丸山更生会会長の名調子ガイドによりバス内は終始和やかな雰囲気でした。道の駅「近江の郷」では、満開の桜のもとで休憩し、彦根城・長浜城はバスの中から眺め、関が原レストランふもとでの食事のあと、一路目的地の大垣へ向かいました。

「奥の細道むすびの地記念館」は、松尾芭蕉が歩いた「奥の細道」の紀行を終えたむすびの地であり、あわせて4度も訪れた西美濃の城下町大垣に建てられた所で、豊富な資料と3D映像など見どころが多い施設での研修でした。



志津地区ふれあいサロン（郊外研修）

志津地区社会福祉協議会
地域・ボランティアネットワーク部会

11月1日に初めての試みとして、独り暮らしの高齢者の皆さまと身体障害者更生会の会員とともに京都水族館と楽しい昼食懇談の後、西本願寺聞法会館で法話研修を体験しました。

京都水族館では、多くの小中学生の郊外学習と重なり、館内は人、人で溢れていましたが、イルカのすばらしいパフォーマンスを楽しみました。また、日本の海を丸ごと表現された大水槽では、目の前を優雅に泳ぐ魚たちに心を癒された皆さんが、立ち止まって見学されている姿は、まるで時が止まったかのようなひと時でした。

水族館の後は、西本願寺の聞法会館に移動して、法話を聞きました。四州教区の本多即應師の心温まる語り口を堪能させてもらい、満ち足りた気持ちで帰路につきました。



「敬老のつどい」開催状況について

9月16日に計画されていましたが「敬老のつどい」〈4町内会〉は、台風18号による特別警報発令により残念ながら中止となりました。開催にあたりご尽力を賜りました関係の皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

（実施町内会：山寺町、笠井町、岡本町、青地第一、エメラルドマンション草津青地自治会、上尾、ロクハタウン自治会、追分鴨田、コージ―ガーデン自治会、かがやきの丘）

第61回「志津ふれあい区民運動会」は天候不順により中止！

開催にあたりご支援ご協力を賜りました志津地区体育振興会および関係の皆さまに心より厚くお礼申し上げます。